

## 庁議記録

日 時 令和5年12月27日(水)

17:00~17:20

場 所 テレビ会議室

### 【濱坂副知事】

それでは、ただいまから庁議を開催いたします。本日の議題は報告事項が2件であります。はじめに、こども施策の推進について、子ども応援社会推進監から説明をお願いします。

### 【子ども応援社会推進監】

本日は、北海道こども政策推進本部の第3回会合を兼ねさせていただき、「こども施策の推進」についてご説明します。

今月22日にこども大綱とこども未来戦略が閣議決定されました。

こども大綱では、こども基本法及びこどもの権利条約等の精神にのっとり、権利の保障と最善の利益を図るなど6つのこども施策に関する基本的な方針を定めています。

保健福祉部では、大綱を踏まえて、子ども未来づくり北海道計画等、現行の3計画を一つにまとめたこども計画の策定や、少子化対策推進条例の見直しの必要性等について検討を進めてまいります。

各部局、各振興局におかれましても、大綱を踏まえまして、所管する条例や計画の見直しの必要性等を精査いただくとともに、こども・若者の参画や意見反映等の取組を進めていただきますようお願いします。

こども未来戦略では、今後3年間の集中取組期間において実施いたします、少子化対策のための具体的施策と予算規模、財源確保の方策が示されております。

具体的施策に関しましては、2024年度から児童手当の拡充や育児期の選べる働き方制度の創設、2025年度からは、両親ともに育児休業を取得した場合の手取り10割相当への引上げ等が順次進められていく予定です。

保健福祉部では、施策の実施における地方負担など、引き続き必要な情報収集を進めてまいります。各部局、各振興局におかれましても、盛り込まれた施策のうち、所管部分の推進に取り組んでいただくようお願いします。以上です。

### 【濱坂副知事】

それでは、次に年末年始の天候状況と防災体制の徹底について危機管理監から説明をお願いします。

### 【危機管理監】

年末年始を迎えるにあたりまして、私から、天候の見通し、それから防災体制の徹底について説明いたします。

はじめに年末年始の天候の見通しについてです。スライドをご覧ください。

札幌管区气象台によりますと、年末年始の道内の天気は、大晦日31日は北海道付近を低気圧が通過する影響で全道的に雪が降り、太平洋側を中心に雨となる所があるほか、年が明けて1月1日から2日は冬型の気圧配置となって、日本海側で雪が降り、3日も気圧の谷の影響で雪や雨が降る見込みです。

また、気温の高い日が多く、積雪の多い地域ではなだれや屋根からの落雪に注意が必要との予報が示されております。

詳しい予報等については、別途各所属へ資料を提供させていただいておりますので、後ほど、ご確認をいただきたいと思っております。

次に防災体制の徹底についてご説明いたします、資料はございません。

この冬は、道北方面を中心に既に大雪となっております。現在、積雪が平年を大幅に上回っている地域があることから、年末年始は雪の降り方などに十分注意が必要であります。

また、気象災害以外にも、地震の発生、北朝鮮による弾道ミサイルの発射、その他、突発的な事故などへの備えも必要です。

私ども本庁危機対策局では、24時間体制で職員が常駐し、警戒にあたることとしておりますが、各部局や各振興局におかれましても、今一度、年末年始における連絡体制、あるいは初動対応をご確認いただくなど、防災体制の確保に万全を期していただくようお願い申し上げます。以上です。

### 【濱坂副知事】

本日の議題は以上ですが、皆さんから何か発言はありますか。よろしいですか、それでは知事から指示をお願いします。

### 【知事】

はじめに「こども施策の推進」についてであります。先週金曜日にこども大綱やこども未来戦略が閣議決定されました。

大人が中心となっている社会の形を「こどもまんなか」へと変えていくといった大きな方向性や、これからの3年間に集中的に取り組む具体的施策などが示されました。

北海道においても、将来を担う世代、とりわけ子どもたちを社会全体で支えていくことが重要であります。

このたび示された大綱等を踏まえ、子ども応援社会の実現に向けて、こどもや若者などの意見反映をはじめとする必要な取組を積極的に検討し、各本部員が連携して施策を推進するように指

示をいたします。

次に、「年末年始の天候状況と防災体制の徹底」であります。先程、危機管理監から24時間体制で対応する旨の発言がありましたが、先日も、道北地方を中心に大雪に見舞われたわけですが、暴風雪、地震といった災害への対応にあたっては、庁内そして、関係機関との連携が極めて重要になります。

多くの方が休みとなる年末年始に向けて、非常時の連絡体制につきましては、振興局も含めて、今一度確認をしていただくようお願いいたします。その上で、万全の体制を取るようお願いいたします。私からは以上です。

### 【濱坂副知事】

それでは、知事の指示を踏まえ、皆様には対応いただくようお願いをいたします。

庁議は以上でございますが、本日は今年最後の庁議でありますので、知事から挨拶があります。知事をお願いいたします。

### 【知事】

今年、最後の庁議となりました。月曜日から各課を、毎年回らせていただいて職員の皆さんに直接、一年のお礼を申し上げたところであります。今年も、道政を前に進めることができました。このことも、皆さんの日々の頑張りの積み重ねのお陰であります。この庁議の場をお借りして、改めて、皆さんには、心から知事として感謝を申し上げたいと思います。

本当に一年間ありがとうございました。

今年を振り返りますと5月にコロナが5類へ移行するという節目を迎えたわけであります。

令和2年に本道で初めて感染を確認してから3年を超える長きにわたって、感染症への対応に保健福祉部をはじめとする全庁一丸となって取り組んでいただきました。感染症対策は、大きな節目を迎えたわけでありますが、道民の皆様の命と健康、暮らしを守るという課題への対応に終わりはありません。引き続き、新たな備えにもしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

また、物価高騰への対応も長期化しているところであります。

道民の皆様の暮らしと事業者の方々の経営環境を守るために、司令塔を担ってくれた経済部を中心にこれまで数次にわたる対策を進めていただきました。引き続き、対策の周知に努めまして、この度の補正予算につきましても速やかに執行し、一日も早く必要な方々にお届けすることが重要でありますので、引き続きお願いを申し上げます。

世界との関係も大きく影響を受けたわけであります。

中国による日本産の水産物の輸入停止。ホタテの生産者や加工業者の皆様への影響が最小限となるよう水産林務部を中心に「食べて応援！北海道」キャンペーンを展開し、国内外の多くの方の協力をいただいて対応することができました。

自然との共生につきましても関心が高まった1年となりました。

3月から4月に発生した高病原性鳥インフルエンザの対応にあたっては、過去最大規模の120万羽を超える防疫措置に昼夜を問わず実施いたしました。農政部をはじめ現場対応にあたった道職員の皆さんは精神的な負担も本当に大きかったと思います。この冬も各地で野鳥の感染が確認され、気持ちの休まらない日々が続いているわけではありますが、安全・安心を守るため、引き続き、皆さんには警戒をお願い申し上げます。

また、ヒグマによる被害も大変多く、お二人の尊い命が奪われるなど痛ましい事故がありました。環境生活部、そして、関係する振興局が取り組んでいただいたわけではありますが、ヒグマが冬眠を迎えるこれからの時期が重要となります。この1年の取組を振り返りながら、対策の強化に取り組んでいきたいと思えます。

この夏の記録的な猛暑は、私たちの生活はもとより作物の生育などにも大きな影響を及ぼしました。教育庁や農政部をはじめ関係部局において、学校の暑さ対策、そして、生産者の方々への技術支援などに努めていただきました。皆さんには次の夏に向けて、暑さに対する更なる備えをお願いしたいと思います。

こうした厳しい状況にも皆で力を合わせて対応しながら、北海道の飛躍に向けて、着実に歩みを進めた1年にもなりました。

次世代半導体を北海道から世界に届けるという前例のないプロジェクトがスタートして、その実現に向け、関係部局が一丸となって、かつてないスピードで対応に取り組んでいただきました。

また、日本海側に加え、太平洋側にも、大型データセンターの立地が決定をいたしました。このほか、洋上風力も道内5区域が有望な区域に指定され、法定協議会も開始されました。

さらに、G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合も開催され、北海道の再生可能エネルギーの活用促進やGX投資に大きな関心が集まるなどエネルギーとデジタルの活用によるゼロカーボン北海道の実現に向けた取組が加速した一年でもありました。

こうした前例のない取組には、多くの部局の連携が重要でありました。引き続き、横断的な視点で取り組んでいただきたいと思います。

コロナの5類移行に伴って、インバウンドをはじめ、観光需要も回復してきました。令和3年にアドベンチャーワールドサミットをバーチャルで開催いたしました。9月にアジア初となるアドベンチャートラベル・ワールドサミットのリアル開催をすることができました。経済部を中心に各振興局において、地域資源の磨き上げに取り組んでいただきました。

38年ぶりの本道での開催となった「全国豊かな海づくり大会北海道大会」は、水産林務部に準備を進めていただきましたけれど、関係部や振興局から多くの職員の皆さんに対応をいただき、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ成功裏に終えることができました。

全国高等学校総合体育大会も36年ぶりに開催することができました。教育庁をはじめ多くの関係者の皆様の協力の下で、これまでの大会はコロナの中でいろいろな制限がありましたが、この北海道大会につきましては、全国の高校生が多くの方の応援をいただいて思う存分活躍できる環境を準備いただきました。

そして、こうした大規模な行事を開催できましたのも道警察の皆さんの尽力があってこそであります。改めて道警察の皆様にも心から感謝申し上げたいと思います。本当ありがとうございました。

また、北海道ボールパークのアクセス道路の整備をはじめとして、北海道の価値向上につながるインフラ整備についても、建設部をはじめ各部局において進めていただきました。

今年は、人々やそして世界とのつながり、本道への想いのつながり、そうしたつながりの大切さを再認識できた1年でもありました。

9月に総合政策部において開設した官民交流サロン「CONNECT」では、日々、新たなつながりが生まれています。

また、振興局の皆さんにサポートをいただきながら、私自身も、利尻島、礼文島などこれまでに45の市町村を訪問させていただいて、創意と工夫を凝らした取組などについて、多くの方々から直接お話を伺う大変貴重な機会をいただき、地域におけるつながりを肌で感じる事ができました。

先月訪問した、新篠津村では、地域おこし協力隊として活躍されている方からの望遠鏡の寄贈をきっかけとして天文台がオープン。地域と人をつなぐ協力隊の皆さんの熱意が、新たな魅力を村に生み出した象徴的な取組として直接お話しをお伺いすることができました。

こうした現場主義を道庁全体で徹底していきたいと考えております。スマート道庁で構築したデジタルツール等もフル活用して、今後も地域の取組を発信して、地域の声を道政に反映していきたいと思います。

また、政策課題も多様化、複雑化しています。そういった中で、各部局がつながることにより、道庁の総合力を発揮し、相乗効果を生みだしていくことが重要になります。職員の皆さんには、引き続きそうした視点を持っていただき、今年1年取り組んでいただいたわけでありますけれども、新しい年においても、職員同士のつながりをより一層強固にし、北海道が直面する難局を皆さんと一緒に乗り越えていきたいと思っております。

最後になりますけれども、先ほど報告がありました年末年始の災害などへの備えはとても大切なことでもあります。

総務部をはじめ道庁全体で24時間、365日危機管理に対応いただいております。職員の皆さんには、年末年始ご苦勞をおかけすることになりますが、引き続き、緊張感をもって、不測の事態への対応についてよろしく願いいたします。休日返上で、職務に当たる職員に皆さんに対しては、職場全体でサポートいただくことを私から皆さんにお願いを申し上げます。

また、コロナ5類移行後、初めての年末年始となります。帰省や旅行などによって、普段会わない方と会う機会や飲酒の機会も増える時期であります。現在、コロナもそうですがインフルエンザも警報レベルの状況が続いており、改めて、感染防止を徹底していただくということ。また、強調したいのですが、飲酒運転につきましては、「しない、させない、許さない、そして見逃さない」ということを合言葉に、この点については徹底していただくよう改めて皆さんに強くお願い

い申し上げるとともに、本庁・振興局が一丸となって、こういったキャッチフレーズのもと取組を徹底していきたいと思えます。

道庁のワークライフバランスの実践の観点から、これは初めての試みでありますけど、今週25日から1月12日までは年末年始リフレッシュ期間ということで取組をしております。管理職の皆さんには、できるだけ多くの職員が、休暇を取得できるように配慮していただくように重ねてお願いを申し上げます。

職員の皆さんには、是非この年末年始で英気を養っていただいて、来年もいろいろな課題、そしてやらなければならないことがありますので、来年皆さんと元気に再会して取組を進めていきたいと思っております。

長くお話しをしましたけれども、今年一年本当に皆さん、お疲れ様でした。

そして、それぞれ皆さん良いお年をお迎えいただければと思えます。

これで、庁議を終えたいと思えます。お疲れ様でした。

#### **【濱坂副知事】**

それでは、以上で本日の庁議を終了いたします。皆様お疲れ様でした。